平成30年度
テレワーク普及促進事業

1 目的

在宅勤務をはじめとする多様な勤務形態の実現に向けて、職場環境の整備に必要な取組を行う中小企業等に対し、その取組に係る経費を補助することにより、中小企業等の職場環境の改善を図ることで、女性をはじめとする市民の有業率の向上や市民のワーク・ライフ・バランスの向上に寄与することを目的としています。

2 補助対象者

市内で事業を営む中小企業等（NPO法人、士業法人等を含みます。）

3 補助対象事業

・補助対象者が実施する在宅勤務、モバイルワーク等を可能とする情報通信機器等の導入により、多様な勤務形態の実現のための新たな環境整備及び既存環境の拡充を図る取組が対象です。
・在宅勤務にあっては月1日以上、モバイルワーク等にあっては週1日以上取り組むものとします。

4 補助金額

補助対象経費の2／3以内、上限額40万円

5 補助件数

11件
（平成30年度採択案件）
・テレワークからはじまる働き方改革（イネスホーム株式会社）
ほか10件

6 補助対象経費

本事業実施に係る以下の経費
■機器購入費　：パソコン、タブレット等の端末、wifiルーター、webカメラなど
■システム構築費：テレワークシステム（勤怠管理システム、ファイル共有システムなど）
構築に係る費用、関連ソフト利用料（テレワークに必要なアプリケーションなど）
■コンサル委託費：テレワーク導入支援や就業規則の作成・改定など専門家への相談費・作成手数料など

7 募集期間

平成30年4月16日～11月9日

8 申請の受付・問い合わせ

札幌市経済観光局産業振興部経済企画課
〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目
TEL：011-211-2352　URL：http://www.city.sapporo.jp/keizai/telework/hojyokin.html

※平成31年度事業詳細は、市ホームページなどで公開する公募要領等をご確認ください。

女性が設計する暮らしの空間

イネスホーム株式会社

●所在地／札幌市北区新琴似町795-23
●TEL／011-763-1231　●FAX／011-764-3269
●代表者／代表取締役　塚本　誠
●設立／1976（昭和51）年7月5日　●従業員数／14名
●URL／http://ineshome.jp

木造注文住宅の設計から施工、細部にこだわったインテリア造作まで、自社で一貫建築。コンセプトは「ちょっとプラスの家づくり」。「ちょっと」のこだわりを大切に、「ちょっと」のアイデアをプラスする家づくりを提案する。

テレワークからはじまる働き方改革
～時代の流れに沿った働き方と暮らし方～

「仕事場」の選択肢を広げる

女性の建築士とインテリア・コーディネーターを中心とする家づくりが人気のイネスホーム。これまでは、結婚や出産を機に退職してしまう女性スタッフもおり、人材維持に課題があった。そこで、就業規則を改定し、育休を取得しやすくするなど、どの段階のライフステージにいても働き続けることができる職場づくりが始まった。さまざまな取組みを検討している際に、「テレワーク」が浮上した。

そこで、インテリア・コーディネーターと広報兼営業担当の女性2名にノートPCを貸与して、自宅や外出先も仕事場になるようにした。広報担当スタッフは、毎週末、モデルハウスの展示会場で見学者の案内をしている。見学者が途切れた隙間時間にPCを開き、メールマガジンの作成やSNSの発信など、広報業務を進める。これは、いわゆるモバイルワーク。以前はPCやネット環境が整備されていなかったため、社内でしかできなかった仕事が、現在ではモデルハウスや外回り中でもできるようになっている。

他にも、CADのクラウドサービスを利用したり、建築現場の情報をクラウド上で共有するソフトを導入したりと、業務全般のIT改革を進め、社外時間の有効活用と移動時間の削減を行った結果、長時間労働の解消につながった。

社会が求める暮らし方を

同社では、就業規則の改定によって、休暇日数が大幅に増加。労働力不足で新規採用が難しいなか、仕事量を減らすことなく休暇取得を促すには、業務の効率化が不可欠である。今後は、在宅勤務・モバイルワークの範囲を拡大させ、社全体で労働時間の短縮に取り組む予定だ。イネスホームの客層は主に30代前半の若い家族。休暇や家族との時間を大切にする世代が理想とする家を建築するために、まずは自分たちがそのような暮らし方を実践することが重要視されている。

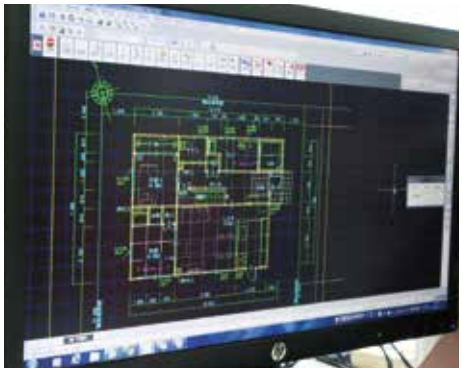
お客様の「家」が幸せ溢れる空間になることを願って

たまたま参加した経営者の集まりの中で、この補助金を知りました。申請書の準備期間が1日しかありませんでしたが、何とか期限までに申請して、利用することができました。上手く補助金情報を入手して、機会があればまた活用したいと思います。

代表取締役
塚本　誠

▲建て主と打合せを行う部屋にはキッズスペースも

▲お洒落なカフェのようなモデルハウスでモバイルワーク



▲どこからでもアクセスできるよう、CADもクラウド化